



aomori school lunch

ASLニュース

2018年 12月 第244号

公益財団法人青森県学校給食会

<http://www.aogk.or.jp>

12月に入り気温の高い日が続いておりますが、山々は雪に覆われ、県内でもインフルエンザが流行し始めるなど冬の訪れが感じられるようになって参りました。師走ということで気温も低く、さらに何かと忙しくなり体調を崩しやすい時期でもあります。2018年を無事に健康で締めくくり、気持ちよく新年を迎えたいものです。

平成30年度青森県学校給食献立コンクール

11月17日(土)学校給食会で開催されました。

1次審査で21チームの中から選考された小学校3チーム、中学校5チーム、特別支援学校2チームの合計10チームが2次審査に参加しました。

午前の調理審査では、各チームとも事前の練習を重ねているようで、調理時間内に盛り付けまで完了できるよう調理手順や役割分担をしっかりとるだけでなく、調理台を有効に使えるように機材等を工夫しており、手際よく調理していました。また、各チームの献立も年々レベルが上がっており、郷土料理や地元食材を使うだけでなく、そこから1歩進んだアレンジ料理も多く、見た目も含めて食べるときに楽しめる工夫がなされており、審査員は調理過程を含めた料理の見た目、栄養価の面だけでなく、献立のアイデアや地域理解等の様々な角度から厳正に試食審査・採点しておりました。

また、献立のアピールタイムでは、各チームが自分たちの献立のコンセプトや料理等についてその特徴や選んだ理由などを説明し、とても盛り上がりました。

午後には審査結果の発表と表彰式が行われ、**最優秀賞には青森県立八戸盲学校「南部のすけ2018」チームの『自分たちで作ってみたいくなる給食』が選ばれました。**



年度
献立コンクール